

～木板画で描く～

復興への願い

田中廣子個展

会期：2015年3月1日(日)～3月13日(金)
 (休館日：3月2日・9日)
 時間：午前9:30～午後9:30
 (日曜日は午後4:30まで)
 会場：倉吉市文化活動センター
 1階ロビー (倉吉市住吉町77-1)

ご挨拶

東日本大震災を被災された人々、特に幼な児を抱え悲しみと絶望に打ちひしがれる母親の姿が心に刻みこまれ、作品製作へと衝き動かされました。「母と子の悲しみ」です。その後の作品「肩を寄せ合って」では、やるせない想いの表情をした兄弟を描きました。「涙を明日へ」では、やがて涙も枯れ果て、尊き幼な子の命を守りぬく決意の母親を表現しました。

震災後5年目となる今、様々な困難な現実問題に心が痛みます。母と子が安心して暮らせ子供達が大切に育まれ成長出来るように一日でも早い復興を願ってやみません。「飛翔」では、明るい未来に向かい羽ばたく少女達を通して、そんな願いをこめました。

未熟な作品ばかりですが、ここに謹んでご高覧いただきますようお願い申し上げます。

出品目録

— 復興への願い —

被災地

- 母と子の悲しみ -
- 肩を寄せ合って -
- 涙を明日へ -

レクイエム

- 心の祈り -
- 守りぬく命 -

飛翔

- 空高く -
- 2014 板画院
鳥取県知事賞受賞
- 空に向かって -
- 瞬 - (裏彩色)

希望

- 植樹に願いを込めて -
- 花摘み -
- 愛しき者(幼き弟と姉) -
- 凜として -

— 乳幼児シリーズ —

(小品)

- 胎教 (まだ見ぬ我が子へ)
- 秋の子守り唄
- ミルク
- スリング
- 初めての抱っこ
- お花畑にて (木版リトグラフ)
- 食べてネ
- ハイハイ
- お出かけ
- わたしの妹
- ボール遊び
- 夢見る頃
- 桃代 (1才7ヶ月)
- 連れ立つ
- 梨の花は春の雪



「母と子の悲しみ」

お礼のことは

本日はわざわざ足を運んで御高覧いただき、誠に有難うございました。
 心から厚く御礼申し上げます。
 ※お願い 芳名録に御記帳をお願いします。

プロフィール

女子美術大学洋画科卒
 市展 洋画、版画共に無鑑査
 日本板画院 院友
 日洋会 会友

倉吉市文化活動センター・リフレプラザ倉吉 (指定管理者 倉吉文化団体協議会)
 〒682-0817 鳥取県倉吉市住吉町77-1 TEL・FAX 0858-23-6095
 休館日：毎週月曜日 開館時間：9:00～22:00 (日曜日のみ17:00まで)